


<p>学校教育目標 「生き生きした 活力のある子」</p>  <p>学校だより</p> <p>さいたま市立大牧小学校</p>	<p>平成30年度 7月号 No.415 平成30年7月2日 発行</p>	<p>7月の目標</p> <p>◎ものを大切にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理整頓をしよう。 ・持ち物に名前を付けよう。
--	---	--

子どもたちのがんばりに応える

校長 間宮和宏

夏至（6月21日）が過ぎ、梅雨の晴れ間、降り注ぐ太陽の光は、木々に夏の輝きを放ち、職員室にも反射しています。校長室のゴーヤの緑のカーテンも徐々に存在感を増してきました。プールからは子どもたちの歓声が聞こえ、休み時間の校庭からは、暑さなど気にせず走り回る元気な姿にさわやかさを感じます。

さて5月末から2つの大きな行事が実施されました。6年生の緑区バスケットボール大会と5年生の館岩自然の教室です。

学校代表として出場した2組は、初戦こそ敗れましたが、2戦目ではシーソーゲームの末、残り3秒で同点に追いつくというドラマチックな展開で、粘り強さを発揮しました。どのクォーターも出場選手たちの必死さと何とかしようという気持ちが伝わってくるとともに、得点を決めた選手のはじけるような笑顔と仲間への声援が感動を呼びました。また、素晴らしい選手宣誓、フェアプレーに徹した姿など、これまでの練習に次ぐ練習や努力が成果となって表れたのだと感じました。そして、選手たちを送り出す壮行会での、校内大会で戦い、2組に託した6年生の他クラスを中心とした全校応援も見事でした。

館岩自然の教室では、登山やキャンプファイヤーなど、自然の中での集団生活を通して、普段さいたま市では体験できない貴重な経験をしました。事前学習などの周到な準備を重ねた子どもたちのがんばりの姿や帰ってきた様子からも、やり遂げた自信と達成感が表れているように思います。6年生と5年生の感想の一部を紹介いたします。

「このバスケットボール大会で、あきらめない心を学びました、練習の力を発揮し、力を合わせて精いっぱい戦えたのがうれしかったです。」「改めて友達のすごさを知ることができました。協力があったからこそ2試合目同点にしていけたんだと思います。」「全力で勝つために動くことで楽しくなるのだと思いましたし、何よりもみんなが団結しました。」「今までで一番スポーツの楽しさ、素晴らしさを知った瞬間でした。この大会で学んだこと、得たものはとても大きかったと思います。」「勝ち負けではなく、楽しむこと、一生懸命本気で頑張ること、協力することが大切なのだ学びました。」「これからいろいろな行事で団結が活かされるなと思いました。」「少年自然の家の歌のように、自然の定めや厳しさ、恵みと豊かさを学べたような気がします。」「イワナをさばいた時、最初はかわいそうと思ったけど食べてみるととてもおいしく、一つの命でこんなすごいものが出るのかと感動し、命の大切さを学びました。」「みんなと協力して活動するとたくさんのことが素早くできました。」「友達と過ごすことで気づなが深まり、仲がもっとよくなりました。」「たくさんの感動を館岩の活動が教えてくれました。学んだことを忘れずにがんばります。」「登山はとても疲れたけれど、山頂についたときはとてもきれいな景色が見え、登ってきてよかったなと思いました。」「館岩で学んだ命の大切さや緑の豊かさ、明かりのありがたみを今後の生活や勉強に生かしていきたいです。」「私の心のアルバムにはたくさんの思い出が入りました。」「

このように教育活動全体を通して、子どもの可能性を伸ばし、成功体験を形にして、子どもたちのがんばりに応えることが大切と考えます。サッカーのワールドカップロシア大会もいよいよ佳境に入ります。様々な選手の活躍を見るにつけ、校庭で走り回る子どもたちやプールから聞こえる歓声の向こうに、将来若者となって世界で活躍し、駆け巡る姿が浮かぶようです。

あと3週間で楽しい夏休みが始まります。学校では1学期の学習、生活の締めくくりをしっかりと行うとともに、ご家庭でもそろそろ夏休みの計画に取り掛かる時期になることと思います。夏休みでなければできないことにチャレンジしてほしいと考えます。そのためにも、実り多い夏休みに向けてしっかりとまとめを進め、子どもたちのがんばりに応えていこうと思います。



※市内のどこか一か所でも「震度5弱」以上の地震が観測された場合には、「引き渡し」を実施します。学校からの連絡を待たず、来校をお願いします。